

兵庫県のみ漁場環境情報 (臨時号)

2021年10月20日発行

兵庫のみ研究所

依然としてこの海域全域で大型珪藻コシノディスカスが大量発生しています。窒素は、陸水等の影響を受ける地先の一部地点を除き、前回(10/14)調査と同様の値で推移しています。

(水温) 漁場内平均23.6℃(昨年比+1.3℃、10月下旬の平年より高い)。(塩分) 平均31.10psu。前回(30.97)より約0.1psu高い。
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスは地先で多く海水1Lあたり1500~2000細胞(前回値:1500~2500細胞)、沖筋では1000~1500細胞(前回値:2000~2500細胞)見られた。窒素は陸水の影響を受けて特異的に高い地点を除き、地先で概ね2~3μg at/L、沖筋で概ね1μg at/L台であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	24.7	23.6	22.1	22.3
窒素	2.0	2.6	5.7	2.0
リン	0.40	0.49	0.62	0.37

(10/14)

(10/21)

西播地先

10/19 採水

伊保地

伊保沖

窒素 1.4
リン 0.35

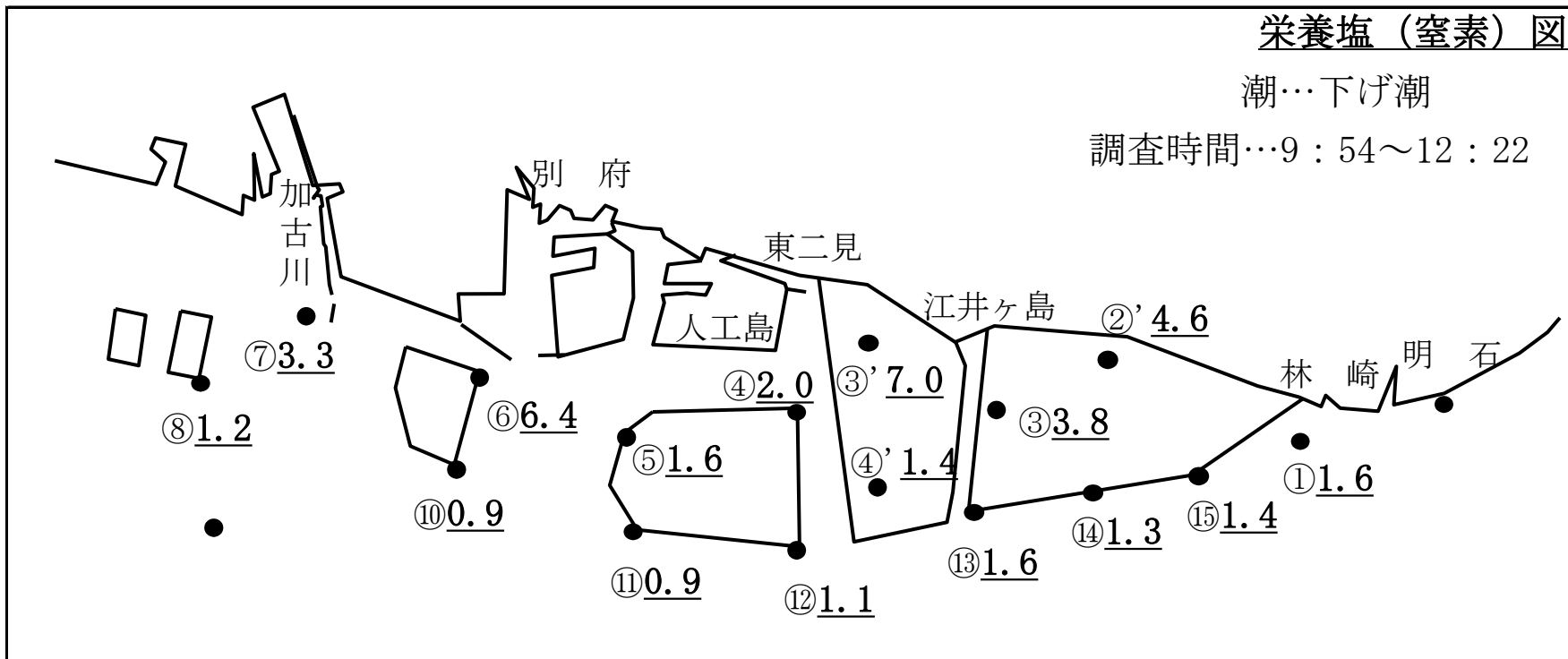
窒素 1.2
リン 0.41

2021年10月19日調査

栄養塩(窒素) 図

潮…下げ潮

調査時間…9:54~12:22



水温図

